

日本鑛夫組合 入山炭坑支部 同磐塔支部 大阪地方評議會

△建議業委員報告

△不部並に加盟組合情勢報告

A 加盟組合の情勢

関東合同労働組合

住谷松太郎

我々関東合同は総同盟より分離以来全く日夜争議に没頭してゐる。故に争議の報告は即組合の情勢そのものである。大正十五年十一月廿八日の東京精糖芝浦工場の争議より去る四月七日の三河島原毛の争議に至るまで件数争議八、紛議七、参加人員七百余名である。日本紡織労働組合 岩内善作  
三月末吾婦支部員三千名が労働総同盟に復帰した如く宣傳せられたるが、その真相は

吾婦支部員は三千人である。東京モスリン會社全職工にても二千余名である。東京モスリン會社には元から協同的の組合。工員組合と称するものがあった。総同盟の鈴木氏は會社重役と面談して団体協約をやることとありた。工員組合を解体してその全員が総同盟に加盟したのであつて我組合員として復帰した。織部の一部に過ぎない。関東紡織は去る三月の大会の決議に従つて委員を買西に送り関西の紡織の方面と協議した。結果紡織、一大組合をつくることになり去る九日日本紡織組合を創立したのであります。日本鑛夫組合 高梨次夫  
争議件数五件、之に参加せる人員五千四百三十名、織首とれたる者二百九十四名、收監と